



土砂災害

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。

1 土砂災害の種類

突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪ってしまう土砂災害は、大きく3種類に分けることができます。

■ 斜面崩壊 (がけ崩れ)

一瞬にして崩壊します

急な崖地や山の斜面が突然崩れ落ちる現象を、斜面崩壊(がけ崩れ)といい、国内で最も件数の多い土砂災害です。一瞬にして崩れるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。



■ 土石流

猛スピードでやってきます

土石流とは、谷や斜面にたまった土・石・砂が、大雨による水とともに一気に谷を流れ下る現象です。スピードが早く破壊力も大きいため、大きな被害をもたらします。



■ 地すべり

広範囲に被害が及びます

粘土などのすべりやすい層の上にある斜面部が、しみ込んだ雨水等の影響などでゆっくり動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、大きな被害をもたらします。

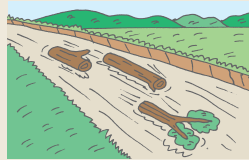


2 土砂災害の前兆現象

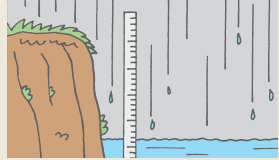
山鳴りがする



川の流りが濁り、流木が混ざりはじめる



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



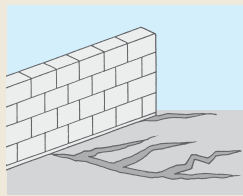
斜面から水が噴き出す



小石がバラバラ落ちてくる



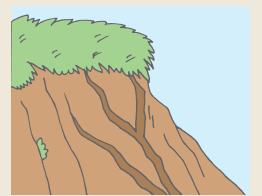
地面にひび割れができる



川や井戸水が濁る

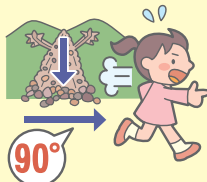


がけに割れ目が見える



土石流からの逃げ方

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは、追いつかれてしまいます。土石流が発生する前に逃げるのが基本ですが、万が一遭遇した場合には、**土砂の流れる方向に対して直角に、少しでも高い場所へ逃げる**ようにしてください。



がけ崩れからの逃げ方

がけ崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍の距離または50メートル程度まで届くと言われていています。前兆現象を発見したら、早めに**斜面から遠くへ逃げる**ようにしてください。